

2月の 園便り



令和4年 新潟青陵幼稚園 園長 加藤 由美子

◇年少の子どもたちの片付け

お帰りの時間になって保育室に戻ると、積み木もままごとも散乱した状態・・・保育者「うわ～いっぱいだね…片付けなくちゃね、でもその前にトイレに行っておようね」とりあえず、子どもたちをトイレに連れていきました。トイレが終わり、(さ～て今度は片付けだ～) と思いながら保育室に戻ると・・・！！アレレ？積み木もままごともしっかりに片付いています。驚いて棒立ちになっている保育者に、たか君「お母さんがね、お掃除すると気持ちよくなるよって言ったの」と・・・トイレから戻ってきた たか君が片付けを初めて、それを見た他の子どもたちもやり始めて、みんなで片付けたということのようでした。自分たちで片付けたことがとても気持ちがよかったです、子どもたちの背筋がシャンと伸びていて、おまけになんだか得意そう。主体的に活動するって気持ちいいことですものね。「お掃除すると気持ちよくなるよ」というたか君のお母さんの言葉は、たか君の心の中で生きて働いていたようです。「言葉」は子どもたちの心に刻まれますね。「掃除しなさい！片付けなさい！」という指示の言葉ではなくて、「掃除したら気持ちよくなるよ」「片付けしたら次に〇〇ができるよ」という言葉を子どもたちに伝えたいですね。こんなふうに、主体的に片付けることが続くといいなと思っていたのですが、甘かった！この時一回きりで終わりました(笑)・・・年少さんでしたからね。

◇そういえば、年少のしゅう君は、いつも片付けをする時に、「男は黙ってかたづける！」と言いながら片付けていました。しゅう君は「いつもお父さんが言ってるんだよ、『男は黙って片付ける』ってね・・・」と言いながら片づけをしていました。お父さんお母さんの言葉は影響が大きいですね～、責任も大きいですね。どんな言葉を伝えるか、自分の言葉をちょっと意識してみたいですね・・・そうそう言葉だけではなくて、その言葉の通りに、お父さんお母さんが行動しているかどうか問題ですけどね。子どもに言っていることと、自分がやっていることが同じでなければ、子どもの心に響きはしませんね。

こんな風に、素敵なお父さんやお母さんの言葉が心に残って、時々出てくるのです。いつもではないのですよ、時々です。でも確実に子どもの心に刻まれています。

◇そうそう、冬休みに卒園した男の子が遊びに来てくれて、ビー玉コースで遊んでいました。幼稚園の頃いつもビー玉コースで遊んでいた男の子でした、ひとしきりビー玉コースで遊ぶと「今度タコしよう！」と言いながらビー玉コースをかたづけ始めました…私は宮島と顔を見合わせました「片付けてる！！」とびっくり、だって、幼稚園の頃、片付けがだいっ嫌いだったのですから…一年生になると違うのですね～自分で片付けるようになるのですね～だとしたら、幼稚園の子どもたちが、多少片付けができなくても、まあいいかと思ったのです(笑)

2月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	火	○	2:30		
2	水	○	2:30		
3	木	○	2:30	節分の豆まきを行います。	
4	金	○	2:30		
5	土				
6	日	/	/		
7	月	○	2:30		
8	火	○	2:30		
9	水	○	2:30		
10	木	○	2:30		
11	金	/	/	建国記念日	
12	土				
13	日	/	/		
14	月	○	2:30		
15	火	○	2:30	赤ばらさん白ばらさん、劇の写真を撮ります。	
16	水	×	11:30	誕生会です。2月生まれさんの保護者の方、ご一緒にお祝いしましょう。。	
17	木	○	2:30	青ばらさんの劇を見る日です。劇の写真を撮ります。	
18	金	○	2:30		
19	土			のばら劇場です。詳細は各クラスのお便りをご覧ください。	
20	日	/	/		
21	月	○	2:30		
22	火	○	2:30		
23	水	/	/	天皇誕生日	
24	木	○	2:30		
25	金	○	2:30		
26	土				
27	日	/	/		
28	月	○	2:30		